記者発表資料

平成２１年　７月　６日
国土交通省東北地方整備局
三　陸　国　道　事　務　所

通岡峠区間が解消して

大船渡～陸前高田間の燃費が２割向上！

平成 21 年 3 月 15 日に部分開通した
三陸縦貫自動車道「高田道路」の開通効果について
（3 ヶ月後）

３月１５日に部分開通した「高田道路 L=3.4km」の開通 3 ヶ月後の効果について、お知らせします。

■燃費の向上について

・急カーブ･急勾配が解消し、大船渡～陸前高田間の**燃費が約 2 割向上**しました。（国道 45 号：17.7 km/L　→　高田道路：21.4 km/L）

■交通事故について

・高田道路開通後 3 ヶ月間で、**高田道路及び並行する国道 45 号で交通事故は発生しておりません。**
（国道 45 号 2.6 件/3 ヶ月　→　高田道路、国道 45 号ともに 0 件）

■交通量について

・高田道路の交通量が **4 月から約 1.1 倍に増加**しております。
（4 月 7,958 台／日　→　6 月 8,515 台／日）

・4～6 月の大船渡三陸道路の交通量は、前年同月と比べて**約 1,000 台／日以上増加**しております。
（H20 年 6 月 3,079 台/日→H21 年 6 月 4,341 台/日　1,262 台増加 ）

発表記者会：岩手県政記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会

【 お 問 い 合 わ せ 先 】

国土交通省東北地方整備局　三陸国道事務所（岩手県宮古市藤の川４－１）

副所長　伊藤（いとう）　啓一（けいいち）　代表 0193-71-1711（内線 204）

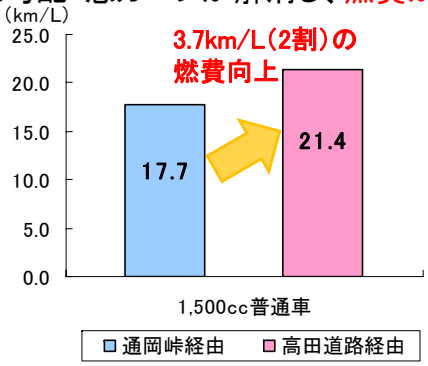
調査課長　武田（たけだ）　滋生（しげお）　〃　（内線 451）

① 大船渡～陸前高田間の燃費が2割向上！

○急勾配・急カーブが連続する通岡峠



○急勾配・急カーブが解消し、燃費が2割向上



▲ 燃費の変化

資料:H21.2、H21.3調査結果

調査内容:(主)大船渡広田陸前高田線交差点～大船渡碁石海岸IC間について、国道45号(5.9km)と高田道路(5.8km)をそれぞれ往復した結果の燃費消費量を比較した。

○初心者でも、慌てず安全な運転が可能に

国道45号(通岡峠経由)と高田道路で走行中の心拍数を比較した結果、高揚状態の回数が、15回から4回に減少し、安心感・安全性が向上

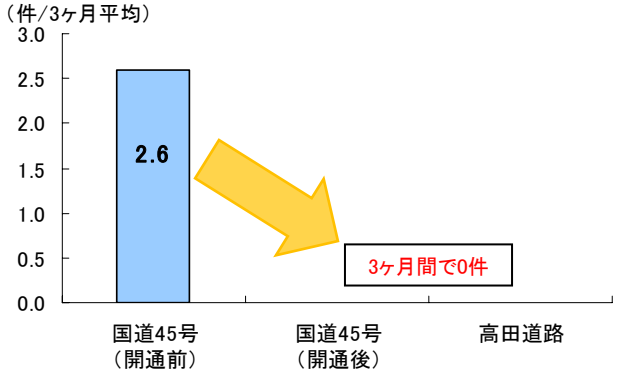
調査内容:通岡峠および高田道路を走行したことがない3名の被験者(20代～50代の男女)に3往復走行してもらい、走行中に心拍数を計測し、高揚状態にある回数をカウントした。高揚状態とは、調査区間全体の平均値を大きく超えている状態を指す。

② 通岡峠の解消で安全・快適な走行が実現

○大型車等の事故が頻発する通岡峠



○高田道路開通3ヶ月間で、交通事故発生件数がゼロ！



▲ 交通事故発生件数の変化

資料:事故原票

※ 開通前:H16年～H20年の4月～6月の平均死傷事故件数

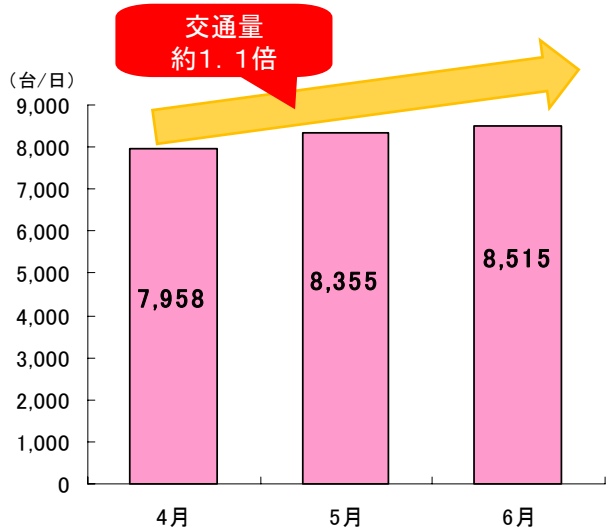
※調査区間:大船渡碁石海岸IC入口交差点～通岡IC入口付近

・開通前は、大型車が多く、時間がかかっていたが、走行しやすくなった。

(住民アンケート自由意見)

③ 高田道路の交通量が増加！

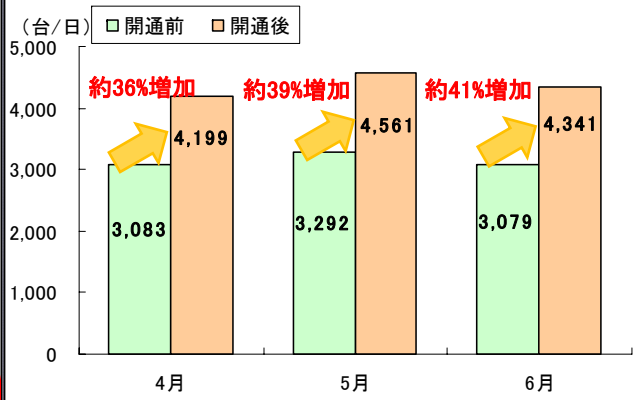
○高田道路の交通量は増加傾向



▲ 高田道路開通後の月平均日交通量の変化

資料:トラカン交通量データ

○高田道路の開通により大船渡三陸道路の交通量も増加



▲ 高田道路開通前後の大船渡三陸道路の月平均日交通量の変化

資料:トラカン交通量データ